変更した事項
光　度　実効光度八、四〇〇カンデラ
光達距離　一三・五海里
記　事　一　附属施設
(一)　副灯四個
イ　灯　質　モールス符号白光毎八秒にU（・・―）
ロ　光　度　実効光度一〇〇カンデラ
ハ　光達距離　五・〇海里
ニ　設置場所及び高さ　本灯の北方約二・六メートルで一三メートル、平均水面上から灯火まで一八メートル、本灯の北北東方約一一一・五メートルで一二メートル、平均水面上から灯火まで一七メートル、本灯の南方約一一〇メートルで一八メートル、平均水面上から灯火まで一四メートル
(二)　ダイヤフラムホーン
イ　吹鳴周期　毎三〇秒にモールス符号U（・・―）音
ロ　設置場所　本灯の南方約二一四八メートル
(三)　レーダー反射器
二　伊勢湾シーバース株式会社管理
変更年月日　平成二十八年二月二十三日

名　称　大船渡港湾口北仮設灯浮標
位置
所在地　岩手県大船渡港（コオリ埼灯台の西方約二・一キロメートル）
北　緯　三九―〇一―〇四
東　経　一四一―四四―〇二
変更した事項
位置
所在地　岩手県大船渡港（コオリ埼灯台の西方約二・一キロメートル）
北　緯　三九―〇一―〇八
東　経　一四一―四四―〇四
変更年月日　平成二十八年二月二十四日
記　事　一時変更

名　称　大船渡港湾口南仮設灯浮標
位置
所在地　岩手県大船渡港（コオリ埼灯台の西方約二・二キロメートル）
北　緯　三九―〇〇―五九
東　経　一四一―四四―〇〇
変更した事項
位置
所在地　岩手県大船渡港（コオリ埼灯台の西方約二・一キロメートル）
北　緯　三九―〇一―〇三
東　経　一四一―四四―〇二
変更年月日　平成二十八年二月二十五日
記　事　一時変更

名　称　大船渡港湾口第一号灯浮標
位置
所在地　岩手県大船渡港（コオリ埼灯台の西南西方約二・〇キロメートル）
北　緯　三九―〇〇―五二
東　経　一四一―四四―一一
変更した事項
位置
所在地　岩手県大船渡港（コオリ埼灯台の西方約一・九キロメートル）
北　緯　三九―〇〇―五七
東　経　一四一―四四―一三
変更年月日　平成二十八年二月二十五日

名　称　大船渡港湾口第二号灯浮標
位置
所在地　岩手県大船渡港（コオリ埼灯台の西方約一・九キロメートル）
北　緯　三九―〇〇―五九
東　経　一四一―四四―一三
変更した事項
位置
所在地　岩手県大船渡港（コオリ埼灯台の西方約一・八キロメートル）
北　緯　三九―〇一―〇三
東　経　一四一―四四―一五
変更年月日　平成二十八年二月二十四日

名　称　大船渡港湾口第三号灯浮標
位置
所在地　岩手県大船渡港（コオリ埼灯台の西方約二・四キロメートル）
北　緯　三九―〇一―〇五
東　経　一四一―四三―五〇
変更した事項
位置
所在地　岩手県大船渡港（コオリ埼灯台の西方約二・四キロメートル）
北　緯　三九―〇一―〇九
東　経　一四一―四三―五一
変更年月日　平成二十八年二月二十五日

名　称　大船渡港湾口第四号灯浮標
位置
所在地　岩手県大船渡港（コオリ埼灯台の西方約二・四キロメートル）
北　緯　三九―〇一―一〇
東　経　一四一―四三―五一
変更した事項
位置
所在地　岩手県大船渡港（コオリ埼灯台の西方約二・四キロメートル）
北　緯　三九―〇一―一四
東　経　一四一―四三―五三
変更年月日　平成二十八年二月二十四日

名　称　女神大橋橋梁灯（Ｐ一灯）
位置
所在地　女神大橋橋梁灯（Ｃ一灯）の西北西方約二五〇メートル
北　緯　三二―四三―一九
東　経　一二九―五〇―五〇
変更した事項
高　さ　地上から構造物の頂部まで二・四メートル平均水面上から灯火まで五・〇メートル
変更年月日　平成二十八年二月二十四日

名　称　女神大橋橋梁灯（Ｐ二灯）
位置
所在地　女神大橋橋梁灯（Ｃ一灯）の西北西方約二五〇メートル
北　緯　三二―四三―二一
東　経　一二九―五〇―五一
変更した事項
高　さ　地上から構造物の頂部まで二・四メートル平均水面上から灯火まで五・〇メートル
変更年月日　平成二十八年二月二十四日

名　称　下津井港一文字防波堤西灯台
位置
所在地　岡山県下津井港（一文字防波堤西端）
北　緯　三四―二六―一七
東　経　一三三―四七―三〇
変更した事項
高　さ　地上から構造物の頂部まで五・五メートル平均水面上から灯火まで七・九メートル
変更年月日　平成二十八年二月二十六日
記　事　一時位置等変更中のところ高さ変更のうえ復旧

名　称　襟裳岬灯台
位置
所在地　北海道幌泉郡えりも町（襟裳岬）
北　緯　四一―五五―三三
東　経　一四三―一四―三八
変更した事項
光　度　実効光度五九〇、〇〇〇カンデラ
光達距離　二二・五海里
高　さ　地上から構造物の頂部まで一四メートル平均水面上から灯火まで七五メートル
記　事　補正